

令和7年度 ダム工事技術者研修 実施要領（案）

主催 一般財団法人 日本ダム協会

1. 目的

本研修は、設計から施工までの実践的なプログラムを体系的に組んでおり、ダム工事技術者としての総合力形成をめざすとともに、施工計画作成の基本的な能力の向上を図る。ダム事業最前線で活躍する講師陣が、少人数制で分かりやすい講義を集中的に行うわが国最高レベルの研修である。「ゼミナール」では知識定着及び相互啓発を図り、学習成果の応用発展を期する。

また、ダム工事総括管理技術者認定試験に関わる科目においては、ダム建設全体の施工計画作成についての実力の養成を目指す。

2. 対象者

地方公共団体、水資源機構等の行政機関や建設会社等においてダム工事に従事する若手・中堅職員、ならびに建設コンサルタント会社に所属し、これらと同等程度の業務経験を有する職員。

※ 定員に余裕があるときは、上記以外でも受講を認める場合がある。

3. 募集人数 20名（定員）

4. 研修期間 令和8年1月26日（月）～1月30日（金） 5日間

5. 申込締切期日 令和7年12月26日（金）

6. 科目及び講師 別紙 時間割のとおり

7. 申込先 一般財団法人 日本ダム協会 研修事務局

担当：楠見・大戸

e-mail：koshukai@jdam.jp

〒104-0061 東京都中央区銀座2-14-2 銀座GTビル

TEL 03-3545-8361 FAX 03-3545-5055

申込用紙は、日本ダム協会のホームページ（下記）からダウンロードしてください。

<http://damnet.or.jp/jdf/R7ken-offer.docx>

※お申込み後、請求書を送付いたします。

8. 集合

(1) 集合日時 令和8年1月26日（月） 13時40分

(2) 集合場所 一般財団法人 日本ダム協会 8階会議室

〒104-0061 東京都中央区銀座2-14-2 銀座GTビル



(3) 交通機関

- | | | | |
|-------|----------|-------|------|
| 東京メトロ | 有楽町線新富町駅 | 1番出口 | 徒歩2分 |
| 東京メトロ | 日比谷線東銀座駅 | 3番出口 | 徒歩5分 |
| 都営地下鉄 | 浅草線東銀座駅 | A7番出口 | 徒歩5分 |

9. 研 修 費

- (1) 研修生1人当たり80,000円(テキスト代, 消費税を含む)

※ 宿泊は各自手配してください。

- (2) 宿泊費, 食費及び会場への往復旅費は上記経費に含まれていません。

10. 持 参 品

- (1) 筆記用具, 電卓, 定規
- (2) 研修中の服装及び履物は, 研修にふさわしいものを着用してください。

11. ゼミナールについて

ゼミナールでは, 受講科目に関する実務上の技術的な疑問点・問題点等について質疑応答を行いますので, 書面(A4タテ)で研修事務局(7. 申込先)までご送付ください。

送付期限 令和8年1月16日(金) 必着

質問内容については, 書面のみで内容が分かるように具体的に記すとともに, 必要に応じて, 写真, 図表等を添付してください。

また, 講義全般にわたるような質問は時間の関係がありますので避けてください。

12. そ の 他

- (1) この研修は, 土木学会の継続教育(CPD)認定プログラム申請予定です。
- (2) 研修期間中, 派遣者等から研修生に連絡する場合, やむを得ないもの以外は講義時間外又は郵便, e-mail等を利用してください。

令和7年度 ダム工事技術者研修時間割(案)

月日	時 間	時間配分(min)	教 科 目	講 師 所 属	講 師 名
R8 1/26 (月)			司会	(一財)日本ダム協会 シニアアドバイザー	楠見 正之
	13:50	10	開講挨拶	(一財)日本ダム協会 専務理事	佐々木 淑充
	14:00~15:30	90	ダムの地質調査	(一財)ダム技術センター	佐々木 靖人
	15:40~17:00	80	河流処理と基礎掘削	清水建設株式会社 土木技術本部 ダム統括部 部長	仁瓶 崇史
	計	170			
27 (火)	9:10~11:40	150	コンクリートダムの設計	(独)水資源機構 総合技術センター	市川 滋己
	12:40~15:10	150	コンクリートダムの施工計画	西松建設株式会社 北日本支社鳥海出張所 所長・監理技術者	永田 豪
	15:20~17:20	120	コンクリートダムの施工と施工管理		三浦 健二
	計	420			
28 (水)	9:30~12:00	150	フィルダム設計	(独)水資源機構 総合技術センター	曾田 英揮
	13:00~15:00	120	フィルダムの施工と施工管理		伊藤 淳
	15:10~17:10	120	フィルダムの施工計画と洪水吐き	大成建設株式会社 土木本部土木技術部 ダム技術室長	池田 千博
	計	390			
29 (木)	9:00~10:30	90	台形CSGダムの施工計画と施工	鹿島建設株式会社 土木管理本部土木工務部ダムグループ 担当部長	松本 孝矢
	10:40~12:40	120	台形CSGダムの設計と堤体材料	(一財)ダム技術センター 技術第一部長	安田 成夫
	13:40~15:00	80	基礎処理	株式会社安藤・間	秋田 真良
	15:10~16:10	60	ダムの再開発	株式会社大林組 土木管理本部土木工務部ダムグループ 担当部長	徳永 篤
	計	350			
30 (金)	9:00~10:00	60	CME Dの活動について	ダム工事総括管理技術者会 会 長	奈須野 恭伸
	10:10~12:10	120	ゼミナール	(独)水資源機構 総合技術センター (一財)ダム技術センター 首席研究員 前田建設工業(株)土木事業本部土木営業第1部副部長兼ダム担当部長 (株)熊谷組 土木事業本部土木技術統括部 ダム技術部部長	曾田 英揮 町屋 政蔵 吉野 俊 高橋 正人
	12:20~12:40	20	修了証授与/撮影および閉講挨拶：(一財)日本ダム協会専務理事 佐々木 淑充		
	計	200			

1530(min)